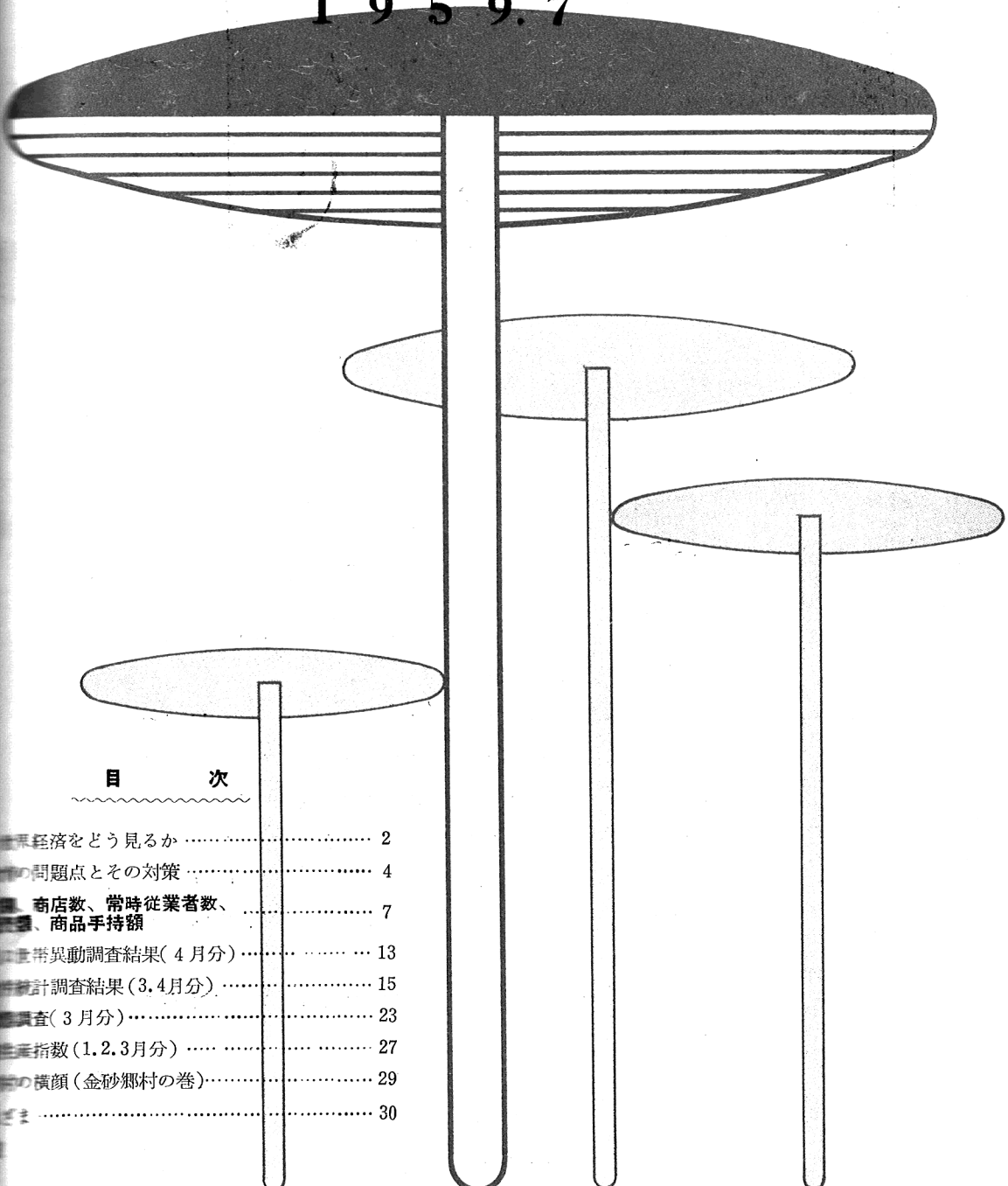


# 統計茨城

1959.7



## 目次



県民経済をどう見るか	2
県民生活の問題点とその対策	4
商店数、常時従業者数、 商品所持額	7
県民意識調査結果(4月分)	13
統計調査結果(3.4月分)	15
県民意識調査(3月分)	23
県民意識指数(1.2.3月分)	27
県民意識の横顔(金砂郷村の巻)	29
おまけ	30



## たばこ



たばこは嗜好品である。嗜好は人の好ききらいに関する事だ。

しかし、好ききらいの問題ほど得手勝手なものはない。人によって好みが違うし、ものによつてもまた変つてくる。何故そんなものが好きなんだといったところで、その理由は全く気ままなものだ。

昭和32年の統計では、茨城県のたばこの作付面積は7,541ヘクタール、推定実収高14,600トン、ともに全国第1位、全国の1割強で、福島県がこれに次ぐ。作付面積のないのは北海道、東京、山梨の3都道県……。

だが、たばこを多く耕作するからといって、これは嗜好の問題ではない。



## 現在の世界経済をどう見るか

東京教育大学教授 美濃部亮吉

今年の2月限りで、役人生活にさよならをして、10年振りに学者生活に帰参した。『乞食と大学教授は3日すると止められない』といわれているそうであるが、時間と雑用に束縛くされないで、自由に好きな研究をすることができる生活は、まことにたのしい。サラリーは1万円ほども下つたが、大学の先生の毎日は、それにかえられないほどたのしいものである。

折角自由に研究できる生活に帰つたのだから、死ぬまでの10何年かをかけて、少しは世の中のためになるような仕事を残したいものだと思ふようになった。私は、大学を卒業してから、主として、世界経済の勉強ばかりやつて来た。そして、その勉強は、大内先生や有沢先生の指導の下に、実証的に研究するというやり方であつた。だから、これからの10何年間をかけて、一生の仕事を残すとしても、世界経済ことに第二次世界大戦後の世界経済を実証的に研究するという以外に方法はないと思ふ。とにかく、そのつもりでやつて見たいと思つている。

今年の4月から、外国書講読のうちのドイツ語を受け持つことになつた。ドイツ語を教えるのも20年振りのことで甚だ自信がない。それに、テキストを選ぶのにも甚だ困難を感じた。幸い、東独から安い100円乃至200円一ドイツ版というドイツ語の本が出版されているのでそれを使うことにした。東独から出ているのだから、マルキシズムに関する文献ばかりである。そこで、そのなかからレーニンの帝国主義論を選んだ。いうまでもなく

レーニンの帝国主義論は、世界経済に関する最高の研究書である。理論の点から言つても、実証という面から見ても、レーニンのこの本に比肩し得るものはないといつてもいいすぎではあるまい。

しかし、レーニン自身も言つているように、この本は第一次世界大戦の前後ともいべき20世紀初頭の世界経済を分析したものである。レーニンのけい眼を以つてしても、世界経済が今日のような状態に発展するものとは予想していなかつたようである。資本主義の基本的原則はかわつていないだろうが、世界経済を形成している国民経済の相互の関連の仕方は、大いに变化した。

だから、20世紀初頭における各国民経済の相互の交流関係から帰納したレーニンの帝国主義理論は、必ずしも現代の世界経済にそのままあてはまるというわけにはいかない。私がレーニンのこの本をテキストに選んだのは、この本が出版された時代の世界経済と現在のそれとどういふ点がちがつているか。従つてレーニンの組立てた理論のどういふ点が現代に妥当しなくなつたかというようなことを学びたいと思つたからであつた。

レーニンの時代にくらべると、第二次世界大戦後の世界経済はまことに複雑を極めている。レーニンの時代においては、植民地を領有する高度に発達した先進資本主義諸国の対立関係を研究すれば、ほぼ問題は解決された。

所が、現代はそう簡単にはいかない。世界経済は、資本主義的世界経済と社会主義的世界経済の二つに大きく

分れてしまった。その二つの世界経済の間には、今の所まだ直接的な経済交流は殆んどない。しかし、政治的な対立関係を通じて、間接的には相互に大きい経済的影響をあたえている。そのなかに、一定の法則を発見するのは容易なことではない。

アメリカが世界経済において、今日のような支配的地位を占めるようになったことも、20世紀の初頭には見られない現象であった。

こういうアメリカの支配力が世界経済の動向を左右する大きい要素に数えなければならないことは説明するまでもあるまい。

植民地の経済的重要性は著しく低下した。そのことが世界経済の動向にどういふ変化をあたえたかも、是非とも解明されなければならない問題である。植民地について、後進国というカテゴリーが大きくクローズアップされて来た。後進国の多くは、戦後政治的独立を勝ち取った諸国である。その人口は、世界総人口の40%以上に達する。これ等の国々は、政治的には独立したが経済的に

は半独立の状態にある。しかし、その政治的発言は、なかなか有力である。資本主義的世界と社会主義的世界の中間にあつて、キャスティングボートを握っているといつていいかも知れない。こういう後進国の経済の動きが、世界経済の発展にとつてどういう意味をもっているかということも、容易には答えを出すことのできないむずかしい問題である。

第二次世界大戦後の世界経済の発展の法則についてはまだ何にも解明されていないといつてもいいすぎではあるまい。景気がよくなつたとか悪くなつたとかいふ分析は、大へんに進歩した。しかし、その底を流れる発展の理論ということになると、まだ手つかずのままに残つているといわなければなるまい。

できるかできないか分らないが、これからの10何年間を、こういう問題と取りくんですごしたいと思つている。

### 世界各國の貿易

(単位100万米ドル)

国名	1937		1955		1956		1957	
	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出
アメリカ合衆国	3,102	3,311	11,410	15,427	12,645	18,947	13,079	20,642
イギリス	4,812	2,630	10,542	8,135	10,471	8,880	11,038	9,310
西ドイツ	...	...	5,793	6,135	6,617	7,358	7,499	8,575
カナダ	811	1,012	4,775	4,410	5,799	4,946	5,867	5,148
フランス	1,704	957	4,739	4,912	5,558	4,541	6,113	5,067
ベルギー・ルクセンブルグ	932	860	2,830	2,776	3,273	3,162	3,432	3,186
オランダ	884	663	3,208	2,687	3,725	2,862	4,105	3,097
日本	1,363	1,200	2,471	2,011	3,230	2,501	4,284	2,853
イタリア	734	550	2,711	1,857	3,169	2,157	3,626	2,540
ヴェネズエラ	91	182	883	1,873	1,026	2,116	1,668	2,366
オーストラリア	408	583	1,932	1,747	1,713	1,887	1,683	2,208
スウェーデン	542	511	1,997	1,726	2,208	1,945	2,421	2,145
スイス	415	296	1,489	1,307	1,766	1,442	1,964	1,560
ブラザル	335	350	1,306	1,423	1,234	1,482	1,489	1,392
インド	691	720	1,413	1,276	1,712	1,269	2,023	1,383



# 統計教育の問題点とその対策

東京大学教授 近藤次郎

近頃は勤務の関係で現場の教員諸君に親しく御目に掛つてお話をする機会に恵まれないが私は統計教育についての興味を喪つてしまったのではない、私はこの紙面を借りて近頃考えていることについて述べてみたいと思う。

統計教育の問題点として私はこの小論において、まず統計教育の現況を展望しその中において若干の問題点をえぐり出して、これの対策について研究してみることにする。

## 1. 現況の展望

統計教育が今や全国的に採り上げられて非常な活況を呈している状態である。

昭和33年5月30日の文部省の調査によれば現在統計教育を実施している学校は全国でおよそ400に上り統計教育を研究課題とした推定学校を持つている都道府県はその数が42の多数に上つている。これらの府県で公開授業や研究発表会あるいは研究大会等の形で発表される統計教育の研究物は1年間に極めて夥しい量にのぼつていると推定される。最近では統計学者や教育学者もこの問題に注意をむけ統計教育に関する指導的な書物が公刊されている状態である。府県単位あるいは府県ブロック単位の統計教育の協議会も各地に結成され統計教育の実験学校が集まつて共通の問題について協同研究を行つたり、あるいは研究成果の情報交換を行つて強力な研究体制をとつている。

全国的な統計教育の大会もすでに東京、広島、徳島、神奈川の4カ所において昭和29年以来毎年実施されており統計教育の指導者を養成する目的で開催される統計教育指導者講習会も埼玉、広島、山梨の各地で昭和30年以来継続して毎年1回づつ行われている状況である。したがつて現在においては学校の現場はもちろんのこと、教育委員会にも上級の学校や文部省等にも統計教育の専門家が相当次山に存在する状態になつた。

このように統計教育は外観上は極めて隆盛に向いつつあり、その内容も年を追つて向上しつ々あるとは云え果してこれでよいであろうか、すなわち統計教育の推進の中心になつている現場の教員諸君がこれでよいと考えているであろうか、今後の行く可き道について迷つて居る人がありはしないか、また職員の転勤や校長の異動等に

伴つて統計教育の推進が中断されたりしてはいないであろうか、また統計教育に熱心な教師が一般の教員組織の中から浮き上つてしまつてはいないだろうか、統計教育の量的な飛躍が府県の研究補助費等の制限の枠によつて飽和の状態になつていないだろうか。すなわち指定校以外の学校においても統計教育の重要性が認識され教育が実践されているだろうか。さらに統計教育の内容がやはり一つの頂点に来てしまつて質的な向上があまりみとめられないのではなからうか、我国の統計教育が現場の一部の教員の間に真剣にとりこまれている状態におわつて、教育学者や統計学者あるいは教育行政の責任者の間の認識がまだ不十分ではなからうか、最後に統計教育の理想の方向に教科書や教科の内容がかつており大きく云えば日本の教育の方向が統計教育の立場から見て正しい方向に指向しているであろうか、あるいはこれらとは全く逆に一部において統計教育の行き過ぎや誤りが指摘されこれに対する反省が行なわれている結果逆に統計教育に水をさすような運動がおこつてはいないだろうか等、このような問題を考えてみるとそのどれにも安心して答を与えることは出来ないように思われる。

しかし統計教育というものが学問的性格からも日本の学校教育の体系から考えても、例えば道徳教育のように白熱的な論議が戦かわされるようなものではない、このことは統計教育の運動が過熱しないということに対する1つの理由でもあり、また統計教育の自然な姿でもあるものと考えられる。しかし我々は現在の段階において統計教育の過去を反省し今後の進む可き道を見出すことが必要である。

## 2. 統計と近代社会

統計教育について間違つた批判や冷たい見方をする人達は根本的に云つて近代社会における統計の役割についての認識が欠けていると思う。このことは統計学者が述べれば我田引水の言辞と取られるであろうが、今や現代の様に分化発達した社会において合理的、数量的な考えや社会の各方面の現実を客観的、数量的に捉えるという手法が専門の統計家以外の人々の間にも広く普及しこれらが非常に大きな成果を挙げているということは多言を要しないことである。これに疑をいだく諸君は宜しく学校の門を出て近代的な経営を営んでいる銀行、会社の

役員、発展の途上にある中小企業家、あるいは自治体の有能な職員等に試みに統計に対する彼等の考えを問うてみる可きである。統計の必要性なり有用性をみとめていないで観念的な空論を走らせている分野に時を経るにしたがつて狭くなって来つつあることを発見するのである。このことは個人的な企業だけでなく国内の問題や広くは国際問題においても統計が非常に重要視されて来たことに気がつく筈である。したがつてこのような意味における統計教育の採用は近代教育としては不可欠の要素であると云わなければならない。この事実の認識の上に立つてはじめて統計教育の必要性や統計教育の進め方についての確信が盛り上つて来る、また根本において統計の本来の使命をわすれてただ表面的な手法のみを追求すれば当然一部においては非難が発生するのであつて近代社会における統計の役割を正しく認識することが根本になければならない、この問題については多くの人々によつて既に語り尽されていると思う。もしそのことが理解出来ないというならばそれは理解出来ないのではなくて理解しようとしないのである、すくなくとも理解しようとする努力していないのである、そこで本稿においても近代統計の必要性についてはこれ以上述べないことにしておこう。

### 3. 教科の内容改訂の問題

最近発表された指導要領の草案の改訂が統計教育に従事している人達に対して相当大きな不安を与えている状態である。すなわち彼等は統計教材が相当縮小され算数数学科等においてもその分量が減らされているということにより統計教育の前途に不安をいだいている人が多い、このような議論は特に統計教育において統計的手法すなわち表やグラフを書く統計表や統計図表の教育あるいは統計調査等といった統計的手法の教育を重点にしている教師の間でささやかれている言葉である、しかしこれは統計という言葉にあまりとらわれすぎた心配であると思う、ここに云う統計とは現象を数量的にみつめ合理的に解釈するというように広く解釈をしておきたいのである。したがつて統計的手法はあくまでその手段であつてこの補助的な手段の教育に時間を取られることはできるだけさけて、それよりもむしろ数量をもとにして物事を判断する、あるいは合理的に解釈をするということに重点をそそがなくてはならない。また統計教育を重視するあまり算数、社会、理科等にならんで統計という教科を新たに設けることを提唱する人もいる、しかしこれも上述の目的にそわないことが明らかであろう。新しい指導要領による教育の内容あるいは教科書等は将来の問題であつて、それが出来なければ現在にわかに判断をすることは難しいけれども少なくとも統計教材の量が減少することは予想されてもこれを扱うことにおいては

内容的な質の低下はすくなくとも予想されない、のみならず教育の水準が一般的に上る結果教室における取扱い如何によつてはかえつて内容的な質の向上すらのものであると思うのである。さらに統計的なものの考え方を身につけさせる場合教室の中だけにあるのではなくて生活指導クラブ活動あるいは休暇中の学習等によつて十分な時間を見出すことが出来て、これらを総合的に進めて行くことによつて統計教育が進歩する筈のものである。

### 4. 教師の問題

私はここで教師自身の問題についてふれてみたいと思う。なんといつても生徒に直接接するのは教師そのものであつて統計教育を生かすも殺すも現場の教師にかかっていると考えられる。しかし教師の中には統計教育についての自信の不足があるように思われる、これは統計教育の効果についての確信がないこと、統計に対する勉強の不足等に原因している。しかし私はこのような自己不信のおこつた時の一番よい対策としては現在やつている統計教育を一応中止しその目的、方法等を反省して再出發してみることをおすすすめしたい、もしも統計教育の効果があまり上つていないとすると、それは重点の置き方が誤つているかあるいはバランスのとれた統計全体の教育が行なわれていないかであろう。しかしその反対に自分でいささかでも効果があると思つている場合には自信をもつてこれを進めることが必要である。教育者としては自己不信も自惚れも禁物であるけれども、しかし自己の教育実践に対して自信を持つていないということが一番禁物のように思われる。

理想的な統計教育、これは難しいとしてもいいと思つたことを断固として推進し、それについて自覚を持つていることは是非とも必要である。

第2には統計教育に熱心な教員が職員組織の中から浮きあがつてしまうという問題である。すなわち同僚の協力が無いということである。このことは相当数の統計学校に極めてよく見られる現象であつてこれは現在の統計教育の大きな障害にもなつていよう思う、また学校としては統計教育に相当な成果を上げていてもその地域の他の学校からあまり認められないということも学校の士気を害うように思える、このような現実があることからみるとやはり私は第2の項目で述べた「近代社会における統計の意義」が教師諸君にまだ十分理解されていないように思われて極めて残念である。もしこのような状態が続くならば教育界が一般の社会から取残されて前時代の不毛の状態に陥るとさえ恐れている、しかしもう一度学校の現場にかえつて、それでは同僚から認められないのはどうすればよいであろうか、もちろん教育は他人にみせるためのものではなく自分がよいと思うことを進めていけばそれで十分である。しかし統計教育は各教科

に亘っており学校全体として総合的な運営で行われないとその成果が上らないという本質から考えてみて統計に関する一般の認識が低いことは大きな障害となるであろう。このような場合は教科中の統計の教育から離れて学級経営や学校経営に統計を用いることを提案し、その実績を認めてもらうように努力することが効果的である。この場合にはなんといつても統計の効果が一般の人に認められることが必要であつて専門の教師はこの意味で謙虚に仕事を進めなければならない、しかし学習指導や生活指導の面で統計を利用すれば効果が上るような問題は学校の中に沢山ころがっており、また成果を上げることはかならずしも難かしいことではない、統計の知識のある教官はみずから進んで調査、集計の労を取り統計の効果が一般の教師にも認められるようにすることが望ましい、また職員の研修の機会に近代的な企業（これはかならずどの府県にもある）を見学し現場の品質管理担当者等から近代統計の説明を聞くのも効果的であろう。

最後にそしてこれが一番大きな問題であるが上司特に校長の統計教育に対する認識の不足があげられよう、これを統計教育推進の大きな障害になつているものである。およそ組織体の中で新しいことを推進する上には3つの大きな要素がある。その第1は十分有能な職員をもつこと、十分能力のある担当者があること、第2に同僚の援助が得られないまでもこれに理解があること、第3は上司の理解である。

本来ならば統計教育を促進するというような教育の内容にかんする大きな問題はまず校長が決心をし、そして全校的な基盤においてこれを部下にやらせるべきである。しかし現状はたとえ出発がそうであつたとしても現場の1、2の教師が統計教育に熱中するにとどまつている状態である。このような状態に対して対策は極めて困難である。

現在の学校の教育は校長の統率下に自主的におこなわれている状態であり統計教育はこれを推進することが要望されているけれども義務づけられてはいない状態であるので査察や監査をおこなつてチェックするようなことは望めない、この問題については警告を発するのみで対策のたてようがないと云える。従来校長の立場として教育委員会や文部省の無理解がしばしば非難されたことがあつた、しかしすでに述べたように現在はこのような事態は存在しないし補助金の不足等はいいのがれとしか受けとれないように思う、しかし統計教育について不熱心な学校や校長をチェックすることは出来ないにしても私はその反対にその成果が極めて顕著な個人や学校を何等かの方法で表彰することを提唱したい、このようにして統計教育に関する校長の熱意を盛り上げることが出来るかも知れないと考えている。

## 5. 結 び

以上私は統計教育の問題点について述べ、その対策を考えて来た、しかしこれだけではじめに述べた問題点が全て尽されているとは考えられない、それぞれの学校の特性に応じた各種の問題があらうと思われる。

最後に唯一の統計教育の進歩が飽和に達しているのではないかということについて私見を述べたい。

義務教育の段階で教科中の統計を指導することは比較的易しいことである、このような段階の統計教育は極端に高いことを望むのが間違であつて私共は（指定学校以外でも）多くの学校で直ちに実践し得るようなものをねらつているからである、この意味においては統計教育は特殊教育であるとは考えられない。したがつて長年に亘つてこの教育と取組んで来た学校においてそれが正しい進み方をしているものであればあるだけその伸びが遅くなつているということはむしろ当然であらう、しかし出来れば従来の進歩のあとを反省しより一層高級なものにすることが望ましい一方教科以外の生活指導における統計教育のありかたやあるいは教科経営における統計の利用法などについても根本的に大きな問題が残つているように思う、このことについては問題があることに学校においても研究を進めることが必要であるがまた公立の研究機関その他の研究場所においても、もつと真剣に取り組んでもらつてよいことであらうと思う。

この教育経営統計の研究はおそらく全教員が関心を持つ必要はない問題があるが、なかなか奥深いものであつて完成の域に到達することは困難であるから、この問題と取組めば今後なにをしたらよいだろうかといったような心配はなくなるであらう、しかし一言注意しておきたいことは単なる教育統計の外見上の利用というだけでは十分でないのでやはり教育に関する教師の問題意識がそこにあつてはじめて教育上の問題が統計的手法で取扱われなければならないものだと思う。

紙数の制限もあるのでこの辺で私は筆をおきたい、本稿をお読み下さつた方々に対し統計教育の今後の進むべき道に対しなんらかの寄与するところがあればはなはだ幸いと存ずる次第である。



# 市町村別 商店数 常時従業

## 商業調査について

### 1. その目的

商業統計調査は統計法による指定統計であり、その第1回目の調査を昭和27年に実施してより、2年目ごとに行われ、33年が第4回目の調査である。調査の目的は「商業の実態を明らかにすること」にある。

### 2. 調査の範囲

この調査の範囲は、日本標準産業分類による卸売および小売業の全般にわたるものである。すなわち一定の場所を持って、主として卸売または小売〔商品の仕入販売（製造小売を含む。）および商品売買の代理または仲立〕の業務を営んでいる商業事業所が調査の対象である。

市町村名	商店									
	計	経営組織別		産業中分類						
		個人	法人	一般卸売業	代理商仲立業	各種商品小売業	織物・衣服のまわり品小売業	飲食料点小売業	自転車荷売業	車売業
茨城県	31,242	28,433	2,809	2,590	193	25	3,291	15,598	1,304	
市部	15,232	13,133	2,099	1,796	88	8	1,784	6,890	478	
郡部	16,010	15,300	710	794	105	17	1,507	8,708	826	
水戸市	2,802	2,127	675	447	17	5	336	1,123	91	
日立市	1,869	1,658	211	141	8	2	266	938	39	
土浦市	1,666	1,395	271	237	16	—	189	708	47	
古河市	1,073	917	156	123	2	—	131	442	43	
石岡市	757	646	111	106	2	—	83	346	25	
下館市	1,170	1,010	160	161	14	—	132	526	35	
結城市	802	699	103	104	4	—	64	386	34	
竜ヶ崎	595	540	55	42	—	—	70	317	13	
那珂湊	708	639	69	79	2	—	79	320	14	
下妻	547	497	50	49	2	—	65	239	31	
水海道	851	797	54	102	6	—	84	354	33	
常陸太田	678	588	90	71	11	—	73	311	26	
勝田	478	447	31	35	1	—	63	202	21	
高萩	488	455	33	38	2	—	58	267	8	
北茨城	748	718	30	61	1	1	91	411	18	
東茨城郡										
常澄村	53	52	1	1	—	—	—	44	3	
茨城町	265	243	22	8	1	—	21	171	13	
小川町	180	170	10	5	—	—	22	103	9	
美野里村	134	125	9	2	—	—	7	77	10	
内原村	138	129	9	5	1	—	13	75	9	
常北町	190	169	21	2	—	—	22	96	13	
桂村	101	97	4	4	—	—	13	67	3	
御前山村	137	133	4	15	—	—	14	62	8	
大洗町	401	359	42	16	—	—	35	231	7	



# 者数 商品販売額 商品手持額

—昭和33年7月1日商業統計調査から—

調査の範囲に入らないものは次のとおりである。

- (1) 国および公共企業体に属するもの
- (2) 街路上にある露店、屋台、立売り等
- (3) 神社の境内、公園内または広場内にある露店
- (4) 行商人、旅商人
- (5) 劇場、映画館、野球場、駅のホーム等の中にある売店
- (6) 官公庁、学校、会社、工場、病院等の中にある売店

数		常時従業者数				商品販売額		手数料、その他のサービス料 (年間)	商品手持額
別		計	事業主、家族 従事者、会社 および団体の 有給役員	常用 労働者	月間販売額	年間販売額			
家具、建 具、器 小売業	その他の 小売業				(6月中)	年間販売額			
2,946	5,295	81,991	60,942	21,049	9,587,632	120,817,992	1,215,701	10,756,820	
1,454	2,734	47,282	29,638	17,644	7,388,830	92,183,449	979,540	7,398,145	
1,492	2,561	34,709	31,304	3,405	2,198,802	28,634,443	236,161	3,358,675	
299	484	12,065	5,335	6,730	2,936,835	37,153,985	567,647	2,182,411	
123	352	6,186	3,967	2,219	824,788	9,173,751	73,052	1,042,557	
135	334	5,197	3,196	2,001	869,449	9,861,057	47,355	824,955	
131	201	3,016	2,158	858	442,305	5,578,072	26,010	480,760	
57	138	2,261	1,371	890	275,849	3,672,772	26,576	376,993	
112	190	3,527	2,207	1,320	434,415	5,768,020	32,939	530,000	
67	143	1,994	1,478	516	182,038	2,587,220	18,628	265,199	
46	107	1,507	1,175	332	186,516	2,349,694	16,919	213,391	
80	134	1,803	1,422	381	203,324	2,912,672	41,846	221,321	
62	99	1,374	1,113	261	140,031	1,771,203	25,063	189,357	
118	154	1,988	1,551	437	198,423	2,197,997	11,649	235,314	
68	118	2,034	1,337	697	254,936	3,730,767	26,200	349,639	
50	106	1,173	851	322	111,069	1,432,954	8,456	104,851	
41	74	1,379	912	467	160,093	2,077,606	47,897	199,146	
65	100	1,778	1,565	213	168,759	1,915,679	9,305	182,251	
3	2	74	72	2	4,272	51,480	42	4,312	
21	30	583	529	54	47,378	584,887	1,101	67,203	
12	29	405	342	63	82,454	979,583	2,267	60,497	
13	25	254	239	15	15,200	200,138	2,046	26,778	
9	26	284	250	34	16,234	200,130	1,013	27,566	
27	30	452	365	87	21,613	322,554	1,356	41,369	
2	12	185	169	16	8,576	103,589	250	15,330	
21	17	275	255	20	8,200	124,822	2,520	19,059	
39	73	1,038	938	100	73,707	909,462	1,514	88,133	



【続】

別		常時従業者数			商品販売額		手数料、その他のサービス料 (年間)	商品手持額
家具、什 小売業	建器 業 その他 の小売業	計	事業主、家族 従事者、会社 および団体の 有給役員	常用 労働者	月間販売額	年間販売額		
					(6月中)			
61	93	1,361	1,153	208	107,095	1,267,744	9,677	168,362
23	43	557	465	92	39,285	524,465	4,287	52,884
11	35	398	329	69	33,037	423,515	2,540	42,610
1	3	56	53	3	1,467	24,028	113	3,307
30	50	825	682	143	38,833	553,574	15,315	87,209
10	14	197	176	21	12,356	146,304	499	15,866
46	59	622	584	38	35,605	521,709	10,076	47,932
21	33	269	252	17	16,254	259,818	802	33,307
32	37	531	445	86	53,337	736,730	2,866	84,905
31	22	445	401	44	17,177	256,242	2,452	36,463
8	16	224	222	2	7,771	99,485	713	12,595
24	20	259	243	16	8,865	139,288	1,806	21,898
12	10	212	212	—	8,181	103,979	5,278	13,722
17	27	307	274	33	15,496	199,053	2,347	33,929
4	17	216	205	11	9,425	124,474	1,209	17,289
52	75	1,257	1,041	216	79,089	987,241	4,411	136,346
8	12	214	185	29	15,036	161,805	986	14,802
7	16	205	198	7	15,407	166,096	124	17,715
22	84	856	717	139	81,044	883,019	3,853	104,412
8	16	192	183	9	8,870	127,586	426	14,872
8	20	242	237	5	15,628	163,407	410	16,577
46	57	602	551	51	37,451	476,243	7,862	61,799
13	28	473	410	63	23,497	282,217	771	35,503
26	24	536	521	15	38,682	466,815	927	56,696
25	36	503	480	23	26,352	332,913	2,137	48,267
18	19	379	314	65	26,684	336,772	546	41,227
46	67	886	722	164	72,849	888,162	5,606	111,541
8	19	205	191	14	11,516	136,505	243	14,926
18	30	422	399	23	20,962	287,915	1,455	38,164
25	45	554	479	75	42,284	553,134	2,867	63,677
13	21	251	247	4	12,469	159,765	5,258	18,826
8	35	499	449	50	38,826	418,625	7,986	33,411
2	6	88	80	8	6,152	72,736	1,340	8,020
15	31	363	325	38	32,320	438,337	3,894	63,410
7	18	230	214	16	12,698	168,396	2,978	21,344

【続】

市 町 村 名	商 店									
	計	経 営 組 織 別		産 業 中 分 類						
		個 人	法 人	一 般 卸 売 業	代 理 商 仲 立 業	各 種 商 品 小 売 業	織 物、衣 装 服 身 小 わ り 品 売 業	飲 食 料 品 小 売 業	自 転 車、 荷 車 小 売 業	
桜川村	104	103	1	—	—	—	13	58	5	
河内村	197	187	10	6	—	—	14	128	11	
東村	134	132	2	2	—	—	3	99	8	
<b>新 治 郡</b>										
出島村	109	106	3	3	—	2	6	64	9	
玉里村	36	34	2	3	—	—	1	27	1	
八郷町	290	286	4	3	—	—	19	191	19	
千代田村	90	90	—	—	—	—	2	65	6	
新治村	98	96	2	5	—	—	5	69	4	
桜村	90	90	—	1	—	4	2	63	5	
<b>筑 波 郡</b>										
谷田部町	291	280	11	7	5	—	20	173	15	
伊奈村	150	148	2	1	—	—	9	91	9	
谷和原村	126	121	5	3	—	—	17	71	8	
豊里町	259	241	18	8	10	—	23	134	13	
筑波町	514	502	12	42	6	—	58	235	22	
大穂町	221	215	6	2	—	—	22	113	15	
<b>真 壁 郡</b>										
関城町	208	201	7	9	11	—	20	108	10	
明野町	211	207	4	2	1	—	19	110	14	
真壁町	394	378	16	26	1	—	40	216	12	
大和村	69	67	2	1	—	—	3	46	4	
協和村	169	169	—	8	—	—	17	81	11	
<b>結 城 郡</b>										
八千代村	332	328	4	6	13	—	30	157	24	
千代川村	98	96	2	5	—	—	7	49	7	
石下町	329	305	24	23	—	—	36	154	19	
<b>猿 島 郡</b>										
総和村	166	165	1	2	1	—	10	109	13	
五霞村	89	87	2	2	—	—	6	52	7	
三和村	261	252	9	7	—	—	22	133	29	
猿島町	200	190	10	15	—	—	21	95	17	
岩井町	502	482	20	24	33	—	47	233	25	
境町	449	410	39	49	—	—	57	189	26	
<b>北 相 馬 郡</b>										
守谷町	138	131	7	5	—	—	19	83	8	
取手町	415	383	32	31	—	—	61	208	18	
藤代町	208	190	18	20	3	—	29	89	10	
利根町	138	134	4	3	—	—	11	76	9	

## 【続】

数別			常時従業者数			商品販売額		手数料、その他のサービス料 (年間)	商品手持額
家具、什小売	建器業	その他の小売業	計	事業主、家族従事者、会社役員および団体の有給従業員	常用労働者	月間販売額 (6月中)	年間販売額		
13	15					225	225	—	10,930
7	31		379	360	19	17,961	254,028	1,689	55,175
5	17		257	244	13	11,559	121,927	4,283	10,624
8	17		236	218	18	20,153	248,737	438	27,099
—	4		64	57	7	3,282	38,354	31	4,746
21	37		550	528	22	26,401	349,724	2,434	48,392
2	15		172	166	6	8,224	102,197	813	6,434
4	11		233	204	29	24,770	581,694	10,652	20,316
3	12		177	175	2	11,752	121,058	1,498	9,847
26	45		548	524	24	31,814	434,428	7,862	42,491
16	24		257	256	1	8,885	109,434	960	14,758
10	17		263	256	7	10,252	136,624	785	13,471
27	44		517	466	51	25,799	279,680	8,252	39,705
61	90		993	902	91	57,180	806,094	6,060	87,854
27	42		463	443	20	15,175	195,371	1,232	31,176
18	32		454	412	42	25,756	481,777	2,552	44,140
29	36		397	395	2	14,464	187,263	1,196	24,297
40	59		877	815	62	51,705	667,528	4,835	77,836
2	13		141	134	7	5,092	63,847	130	6,566
15	37		361	355	6	16,319	196,218	961	16,630
39	63		607	601	6	30,181	430,012	4,047	42,090
11	19		205	194	11	9,765	128,700	480	17,638
27	70		785	662	123	75,031	1,264,716	6,820	110,466
7	24		323	310	13	12,680	150,687	1,165	13,175
3	19		160	151	9	8,268	89,455	227	10,576
12	58		512	474	38	28,978	393,237	776	49,369
19	33		412	375	37	39,088	519,792	13	101,216
52	88		1,014	935	79	55,956	761,114	6,377	106,269
48	78		2,067	1,928	139	73,627	955,029	5,137	138,638
13	10		269	247	22	18,976	223,984	844	27,447
37	60		1,049	831	218	93,758	1,094,686	22,553	119,110
21	36		466	390	76	36,513	494,191	2,293	59,483
16	23		290	273	17	18,874	241,801	1,795	20,439

# 毎月人口世帯異動調査結果

(昭和34年4月分)

人口統計係

## 1. 世帯異動状況

	前月末	増加				減少				本月末
		転入		その他	計	転出		その他	計	
		県外から	県内から			県外へ	県内へ			
世帯数	391,652	407	790	◎ <sup>4</sup> 123	1,324	375	563	◎ <sup>4</sup> 36	978	391,998
前月との増減比	—	112.4	143.1	142.7	132.0	74.4	111.0	86.9	97.0	100.1

前月=100 ◎は、友部町より笠間市に編入された数

## 2. 人口異動状況

	前月末	増加				減少				本月末		
		出生	転入		その他	計	死亡	転出			その他	計
			県外から	県内から				県外へ	県内へ			
計	2,078,283	3,149	4,725	6,844	◎ <sup>23</sup> 157	14,898	1,388	8,293	6,705	◎ <sup>23</sup> 106	16,515	2,076,666
男	1,011,694	1,608	2,810	3,298	◎ <sup>14</sup> 114	7,844	754	4,735	3,216	◎ <sup>14</sup> 80	8,799	1,010,739
女	1,066,589	1,541	1,915	3,546	◎ <sup>9</sup> 43	7,054	634	3,558	3,489	◎ <sup>9</sup> 26	7,716	1,065,927
前月との増減比	—	94.1	128.5	140.7	100.5	122.8	83.9	86.4	113.2	79.6	95.2	99.9

前月=100 ◎は、友部町より笠間市に編入された数

## 3. 県外からの転入者内訳

従前の居住地	転入者数	割合
合計	4,725	100%
東京都	1,826	38.7
埼玉県	141	3.0
神奈川県	241	5.1
千葉県	250	5.3
栃木県	274	5.8
群馬県	88	1.8
福島県	526	11.3
その他の府県	1,379	29.2

## 4. 県外転出者内訳

転出先の居住地	転出者数	割合
合計	8,293	100%
東京都	5,400	65.1
埼玉県	307	3.7
神奈川県	652	7.9
千葉県	457	5.5
栃木県	194	2.3
群馬県	63	0.8
福島県	225	2.7
その他の府県	995	12.0

## 5. 市町村別世帯数および人口(月末現在)

市町村名	世帯数	人口			市町村名	世帯数	人口		
		計	男	女			計	男	女
市計	176,488	869,754	425,105	444,649	竜ヶ崎市	6,659	34,039	16,464	17,575
					那珂湊市	6,943	34,070	16,014	18,056
水戸市	28,882	133,713	64,453	69,260	下妻市	5,591	31,482	15,055	16,427
日立市	30,781	148,359	75,325	73,034	水海道市	7,309	39,039	18,836	20,203
土浦市	16,238	72,282	34,942	37,340	常陸市	7,718	39,043	18,988	20,055
古河市	8,951	41,442	19,651	21,791	勝田市	7,846	38,724	19,161	19,563
石岡市	7,291	36,669	17,599	19,070	高萩市	6,949	32,761	16,269	16,492
下館市	9,627	52,294	25,310	26,984	北茨城市	12,425	63,369	32,209	31,160
結城市	6,962	39,162	18,808	20,354	笠間市	6,316	33,306	16,021	17,285

市町村名	世帯数	人			市町村名	世帯数	人		
		計	男	女			計	男	女
<b>郡 計</b>	215,510	1,206,912	585,634	621,278	<b>稲敷郡</b>	21,080	114,539	55,586	58,953
<b>東茨城郡</b>	25,656	138,542	67,115	71,427	江戸崎町	2,523	13,377	6,399	6,978
常澄村	1,730	10,309	5,046	5,263	美浦村	1,717	9,569	4,600	4,969
茨城川町	5,526	31,471	15,415	16,056	阿見町	4,321	21,872	10,798	11,074
小川町	2,938	16,312	7,841	8,471	牛久崎町	1,085	6,516	3,238	3,278
野里村	2,688	15,101	7,362	7,739	新利根村	3,071	16,145	7,976	8,169
内原村	2,260	13,376	6,775	6,601	新利根村	1,812	9,831	4,720	5,111
常北町	2,380	12,403	5,897	6,406	河内村	1,673	9,214	4,331	4,883
菅野村	1,844	9,475	4,550	4,925	河東村	2,377	13,745	6,669	7,076
前山村	1,451	7,737	3,664	4,073		2,501	14,270	6,855	7,415
大洗町	4,839	22,358	10,465	11,893	<b>新治郡</b>	15,745	87,592	42,924	44,668
<b>西茨城郡</b>	11,044	62,015	30,073	31,942	出島村	3,494	19,244	9,471	9,773
友部町	3,468	19,285	9,500	9,785	八千代村	976	5,330	2,622	2,708
岩間村	2,494	14,458	6,962	7,496	新治村	5,708	32,609	15,889	16,720
七瀬村	732	4,227	2,036	2,191	筑波村	2,089	12,060	5,921	6,139
瀨野村	4,350	24,045	11,575	12,470	筑波村	1,653	8,922	4,407	4,515
<b>那珂郡</b>	19,866	107,829	52,838	54,991	筑波村	1,825	9,427	4,614	4,813
東海村	2,054	12,658	6,455	6,203	<b>筑波郡</b>	17,175	94,837	46,216	48,621
那珂町	5,874	31,209	15,287	15,922	谷田部町	3,980	21,587	10,685	10,902
瓜連町	1,411	7,181	3,481	3,700	伊奈村	2,122	12,416	5,998	6,418
大宮町	4,880	25,652	12,445	13,207	谷原町	1,995	11,315	5,425	5,890
山和村	2,557	13,749	6,723	7,026	谷里町	2,154	11,910	5,873	6,037
美和村	1,530	8,868	4,316	4,552	筑波町	4,728	25,471	12,349	13,122
緒川村	1,560	8,512	4,131	4,381	大穂町	2,196	12,138	5,886	6,252
<b>久慈郡</b>	14,311	77,983	37,627	40,356	<b>真壁郡</b>	13,816	80,235	38,812	41,423
金砂郷村	2,792	15,491	7,404	8,087	関城町	2,629	15,507	7,521	7,986
水府村	2,319	12,145	5,857	6,288	明野村	3,081	18,298	8,893	9,405
里美子村	1,433	8,120	3,893	4,227	大真協和村	1,406	8,564	4,166	4,398
大子町	7,767	42,227	20,473	21,754	明野村	4,178	22,972	11,957	12,015
<b>多賀郡</b>	2,275	11,262	5,564	5,698	協和村	2,522	14,894	7,275	7,619
十王町	2,275	11,262	5,564	5,698	<b>結城郡</b>	9,342	55,452	26,883	28,569
<b>鹿島郡</b>	20,909	121,448	58,679	62,769	八千代村	4,219	25,858	12,594	13,264
旭村	1,982	11,995	5,834	6,161	千代川村	1,602	9,039	4,384	4,655
鉾田町	5,278	29,459	14,273	15,186	石下町	3,521	20,555	9,905	10,650
大村	1,859	10,771	5,169	5,602	<b>猿島郡</b>	20,582	124,909	60,381	64,528
大野村	1,808	11,159	5,401	5,758	総和村	3,348	20,524	9,964	10,560
大鹿町	2,795	16,267	7,816	8,451	五三和村	1,500	9,672	4,738	4,934
神栖村	2,862	16,799	8,045	8,754	三和村	3,249	20,511	9,865	10,646
波崎町	4,325	24,998	12,141	12,857	猿島町	2,509	15,698	7,572	8,126
<b>行方郡</b>	12,966	74,116	35,646	38,470	猿島町	5,909	34,911	17,017	17,894
麻生町	3,592	21,013	10,193	10,820	境井町	4,067	23,593	11,225	12,368
牛堀町	1,216	7,061	3,399	3,662	<b>北相馬郡</b>	10,743	56,153	27,290	28,863
潮北町	3,155	17,708	8,382	9,326	守谷町	2,153	11,862	5,762	6,100
北玉造町	2,169	12,857	6,157	6,700	取手町	4,506	21,903	10,746	11,157
玉造町	2,834	15,477	7,515	7,962	藤根町	2,331	12,754	6,127	6,627
					利根町	1,753	9,634	4,655	4,979

# 毎月勤労統計調査結果速報

(昭和 34 年 3 月 分)

労働省大臣官房労働統計調査部

茨 城 県

結 果 の 概 況

## 1. 常用労働者の平均賃金の推移

3月分の常用労働者1人当りの現金給与額は16,754円で前月に比べて、564円の増額となっている。この増額の主な因は、各産業において生産および取引が前月よりも増加したことによるものである。これを産業別に前月と比較して見ると次のとおりである。

産業別常用労働者一人平均月間現金給与額

産 業 別	前 月	本 月	対前月増減
数 数	16,190	16,754	+ 564
D 鉱 業	15,883	17,085	+ 1,202
F 製 造 業	16,028	15,658	- 370
18 食 料 品 製 造 業	11,871	11,183	- 688
20 織 維 工 業	7,474	7,477	+ 3
30 窯 業 土 石 製 品 製 造 業	16,759	17,422	+ 699
34 機 械 製 造 業	11,727	11,729	+ 2
35 電 気 機 械 器 具 製 造 業	17,988	17,313	- 675
39 そ の 他 の 製 造 業	13,401	13,944	+ 543
G 卸 売 及 び 小 売 業	12,732	15,597	+ 2,865
H 金 融 業	18,858	32,139	+13,281
J 運 輸 通 信 及 び そ の 他 の 公 益 事 業	18,607	18,629	+ 22
E 建 設 業	11,764	12,419	+ 655
L 医 療 及 び 保 健 業	17,693	17,600	- 93

## 2. 労働時間及び出勤日数の推移

本月の常用労働者1人平均を前月に比べると、総実働労働時間数は産業総数で195.2時間で3.3時間減少している。所定内労働時間数は174.3時間で、3.8時間、所定外労働時間数は20.9時間で0.5時間少い。又出勤日数は23.3月で0.5日といづれも減少しているのは、稼働日数の減によるものである。

## 3. 雇用の動向

本月末推計労働者は77,124人(男62,793人、女14,331人)で前月に比べて113人の減少であるが、これは鉱業及び製造業、建設業等における生産作業量の減によるものである。



第1表 産業常用労働者の種類及び性別一人平均月間現金給与額並びに産業別臨時及び日雇労働者の一人一日平均現金給与額 (規模30人以上) (単位円)

産業名	現金給与総額			きまつて支給する給与			特別に支払われた給与			臨時及び日雇労働者の一人平均現金給与額
	総数	男子	女子	総額	男子	女子	総数	男子	女子	
<b>全常用労働者</b>										
<b>総数</b>	16,754	18,726	8,115	16,148	18,084	7,669	606	642	446	337
D 鉱業	17,085	17,959	6,804	16,897	17,759	6,740	188	198	67	356
E 建設業	12,419	13,260	6,787	12,374	13,211	6,765	45	49	22	360
F 製造業	15,658	17,999	7,204	15,649	17,988	7,201	9	11	3	253
18 食料品	11,183	14,332	5,479	11,183	14,332	—	—	—	—	303
20 繊維工業	7,477	14,721	5,690	7,477	14,721	5,690	—	—	—	257
21 衣服その他繊維製品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22 木材木製品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26 化学工業	15,316	18,378	8,556	15,316	18,378	8,556	—	—	—	360
30 窯業土石製品	17,422	18,597	8,091	17,417	18,592	8,091	5	5	—	246
32 非金属製品	17,922	19,244	8,590	17,922	19,244	8,590	—	—	—	—
33 金属製品	12,155	13,126	7,257	12,155	13,126	7,257	—	—	—	—
34 機械製造業	11,729	13,328	6,292	11,729	13,328	6,292	—	—	—	—
35 電気機械器具製造業	17,313	19,391	7,558	17,312	19,390	7,557	1	1	1	231
19.38.39 その他の製造業	13,944	17,729	9,356	13,825	17,535	9,329	119	194	27	314
G 卸売及び小売業	15,597	18,975	7,084	12,766	15,258	6,486	2,831	3,717	598	277
H 金融及び保険業	32,139	39,455	18,289	18,918	22,928	11,328	13,221	16,527	6,961	—
J 運輸通信	18,629	19,948	10,378	18,354	19,664	10,161	275	284	217	294
K 電気ガス水道	26,107	27,033	16,625	26,107	27,033	16,625	—	—	—	459
L 医療保健業	17,600	26,747	12,124	17,600	26,747	12,124	—	—	—	196
<b>生産労働者</b>										
D 鉱業	17,082	17,734	6,350	16,938	17,586	6,271	144	148	79	—
E 建設業	10,099	10,849	5,854	10,098	10,848	5,854	1	1	—	—
F 製造業	13,076	14,989	6,714	13,065	14,975	6,710	11	14	4	—
18 食料品	9,490	12,150	5,231	9,490	12,150	5,231	—	—	—	—
20 繊維工業	6,104	10,552	5,557	6,104	10,552	5,557	—	—	—	—
21 衣服その他繊維製品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22 木材木製品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26 化学工業	12,713	15,206	8,146	12,713	15,206	8,146	—	—	—	—
30 窯業土石製品	16,206	17,092	7,188	16,202	17,088	7,188	4	4	—	—
32 非金属製品	15,537	16,405	8,260	15,537	16,405	8,260	—	—	—	—
33 金属製品	11,355	12,081	6,908	11,355	12,081	6,908	—	—	—	—
34 機械製造業	10,293	11,500	5,909	10,293	11,500	5,909	—	—	—	—
35 電気機械器具製造業	14,441	16,067	7,031	14,439	16,066	7,029	2	1	2	—
19.38.39 その他の製造業	11,478	14,247	8,920	11,349	14,008	8,892	129	239	28	—
<b>管理事務及び技術労働者</b>										
D 鉱業	17,096	19,500	7,565	16,656	18,960	7,518	440	540	47	—
E 建設業	17,447	18,117	10,236	17,306	17,973	10,214	141	144	22	—
F 製造業	21,779	24,713	8,673	21,775	24,708	8,672	4	5	1	—
18 食料品	18,125	21,564	7,120	18,125	21,564	7,120	—	—	—	—
20 繊維工業	14,212	18,277	7,266	14,212	18,277	7,266	—	—	—	—
21 衣服その他繊維製品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22 木材木製品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26 化学工業	21,323	24,418	10,100	21,323	24,418	10,100	—	—	—	—
30 窯業土石製品	22,468	25,742	9,730	22,459	25,733	9,730	9	9	—	—
32 非金属製品	22,695	25,278	9,033	22,695	25,278	9,033	—	—	—	—
33 金属製品	18,079	23,329	8,295	18,079	23,329	8,295	—	—	—	—
34 機械製造業	16,865	20,327	7,396	16,865	20,327	7,396	—	—	—	—
35 電気機械器具製造業	22,458	25,256	8,573	22,457	25,255	8,573	1	1	—	—
19.38.39 その他の製造業	21,176	24,307	11,978	21,089	24,197	11,956	87	110	22	—

第2表 産業常用労働者の種類及び性別1人平均月間実労働時間数及び出勤日数  
(規模30人以上) (単位時間、日)

産 業 名	総実労働時間数			所定内労働時間数			所定外労働時間数			出 勤 日 数		
	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子
<b>全 常 用 勞 働 者</b>												
総 数	195.2	198.3	181.9	174.3	174.6	173.4	20.9	23.7	8.5	23.3	23.4	23.0
D 鉱 業	192.3	193.2	180.2	171.5	171.6	169.2	20.8	21.6	11.0	23.5	23.4	23.9
E 建 設 業	192.5	195.3	174.5	175.0	176.7	164.1	17.5	18.6	10.4	23.2	23.4	22.4
F 製 造 業	200.6	205.7	182.3	174.7	175.0	173.9	25.9	30.7	8.4	23.2	23.3	22.7
18 食 料 品	193.5	199.2	183.1	178.4	178.2	178.7	15.1	21.0	4.4	23.0	23.2	22.6
20 織 維 工 業	187.6	191.3	186.7	186.0	185.5	186.1	1.6	5.8	0.6	23.3	23.4	23.3
21 衣 服 其 他 織 維 製 品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22 木 材 木 工 製 品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26 化 学 工 業	205.9	216.1	183.3	180.4	183.0	174.5	25.5	31.3	8.8	23.6	23.8	23.3
30 窯 業 土 石 製 品	198.6	200.7	181.9	170.9	170.8	171.8	27.7	29.9	10.1	23.0	23.1	22.6
32 非 鉄 金 属 品	202.9	204.9	188.2	174.9	174.7	176.2	28.0	30.2	12.0	24.0	23.9	24.1
33 金 属 製 造 業	208.2	209.0	204.7	179.9	179.7	180.9	28.3	29.3	23.8	23.8	23.7	24.5
34 機 械 製 造 業	210.3	215.5	192.3	189.3	190.4	185.6	21.0	25.1	6.7	24.1	24.2	23.8
35 電 氣 機 械 器 具 製 造 業	201.8	206.8	178.2	171.0	172.1	165.7	30.8	34.7	12.5	22.8	23.0	22.0
19.38.39 そ の 他	189.8	195.5	182.8	177.9	177.4	178.4	11.9	18.1	4.4	23.0	22.9	23.1
G 卸 売 及 び 小 売 業	192.0	189.2	198.9	182.7	178.3	193.8	9.3	10.9	5.1	24.7	24.7	24.9
H 金 融 保 險 業	177.1	175.7	179.7	164.4	163.1	166.9	12.7	12.6	12.8	23.7	23.7	23.7
J 運 輸 通 信 業	186.8	189.4	171.2	178.6	181.2	162.6	8.2	8.2	8.6	23.1	23.3	21.7
K 電 気 ガ ス 水 道 業	160.1	160.2	157.7	147.7	146.9	155.3	12.4	13.3	2.4	23.3	23.4	22.6
L 医 療 保 健 業	194.6	203.9	189.1	181.2	187.6	177.3	13.4	16.3	11.8	23.4	23.7	23.2
<b>生 産 勞 働 者</b>												
D 鉱 業	193.0	193.7	181.7	171.6	171.8	169.2	21.4	21.9	12.5	23.3	23.3	23.3
E 建 設 業	185.9	188.6	170.2	169.5	171.2	159.8	16.4	17.4	10.4	22.5	22.5	22.0
F 製 造 業	201.1	207.1	181.0	174.7	175.1	173.3	26.4	32.0	7.7	23.1	23.3	22.6
18 食 料 品	192.7	198.8	182.7	176.8	175.5	178.8	15.9	23.3	3.9	22.7	22.9	22.5
20 織 維 工 業	186.3	187.7	186.1	185.2	181.9	185.6	1.1	5.8	0.5	23.2	23.2	23.2
21 衣 服 其 他 織 維 製 品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22 木 材 木 工 製 品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26 化 学 工 業	206.8	221.1	180.6	197.7	183.4	172.7	27.1	37.7	7.9	23.5	23.7	23.1
30 窯 業 土 石 製 品	202.3	204.6	178.7	172.0	172.4	167.8	30.3	32.2	10.9	22.9	23.0	22.0
32 非 鉄 金 属 品	205.5	207.0	192.4	173.5	172.8	179.1	32.0	34.2	13.3	23.8	23.8	24.3
33 金 属 製 造 業	207.3	208.1	202.2	177.8	177.9	177.2	29.5	30.2	25.0	23.6	23.5	24.4
34 機 械 製 造 業	213.8	219.2	194.3	191.8	193.2	186.7	22.0	26.0	7.6	24.5	24.6	24.0
35 電 氣 機 械 器 具 製 造 業	201.5	207.3	175.0	170.4	172.0	163.0	31.1	35.3	12.0	22.7	22.9	21.6
19.38.39 そ の 他	190.0	199.7	181.0	179.8	182.7	177.1	10.2	17.0	3.9	23.1	23.3	22.9
<b>管 理 事 務 及 び 技 術 勞 働 者</b>												
D 鉱 業	187.9	190.5	177.7	170.4	170.7	169.3	17.5	19.8	8.4	24.3	24.1	24.9
E 建 設 業	206.9	208.5	190.6	187.0	187.7	180.3	19.9	20.8	10.3	24.9	25.0	23.8
F 製 造 業	199.5	202.6	186.1	174.8	174.7	175.5	24.7	27.9	10.6	23.3	23.3	23.2
18 食 料 品	196.6	200.2	185.2	184.7	186.9	177.7	11.9	13.3	9.5	23.9	24.3	22.7
20 織 維 工 業	194.1	194.2	194.0	189.9	188.5	192.2	4.2	5.7	1.8	23.7	23.6	24.0
21 衣 服 其 他 織 維 製 品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22 木 材 木 工 製 品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26 化 学 工 業	203.8	206.5	193.5	182.0	182.2	181.0	21.8	24.3	12.5	23.9	24.0	23.8
30 窯 業 土 石 製 品	183.2	182.0	188.0	166.4	163.2	179.2	26.8	18.8	8.8	23.4	23.3	23.8
32 非 鉄 金 属 品	197.7	200.5	182.7	177.8	178.8	172.4	19.9	21.7	10.3	24.2	24.3	23.5
33 金 属 製 造 業	214.7	216.1	212.2	194.9	196.4	192.0	19.8	19.7	20.2	25.3	25.5	24.8
34 機 械 製 造 業	197.7	201.7	186.7	180.6	179.9	182.4	17.1	21.8	4.3	22.7	22.6	23.1
35 電 氣 機 械 器 具 製 造 業	202.3	205.9	184.4	172.0	172.2	170.9	30.3	33.7	13.5	23.0	23.1	22.5
19.38.39 そ の 他	189.1	187.6	193.5	172.3	167.5	186.5	16.8	20.1	7.0	22.5	22.0	24.1

第3表 産業常用労働者の種類及び性別月末及び増加減少推計労働者数並びに産業別臨時及び日雇労働者の年月推計延人員（規模30人以上）（単位人）

前月末労働者数			本月中の増加			本月中の減少			本月末労働者数			臨時及び日雇労働者の 月間推計延 人員
総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	
77,124	62,793	14,331	1,875	1,452	423	1,268	978	290	77,731	63,267	14,464	77,907
12,230	11,273	957	167	152	15	187	169	18	12,210	11,256	954	10,853
3,740	3,249	491	223	194	29	111	86	25	3,852	3,357	495	46,380
43,593	34,143	9,450	1,184	897	287	747	558	189	44,030	34,482	9,548	9,524
2,411	1,559	852	66	30	36	67	42	25	2,410	1,547	863	466
1,602	316	1,286	17	4	13	37	6	31	1,582	314	1,268	1,242
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
915	630	285	16	12	4	11	9	2	920	633	287	514
1,749	1,553	186	68	61	7	19	17	2	1,798	1,597	201	517
4,257	3,728	529	72	63	9	33	27	6	4,296	3,764	532	—
1,020	845	175	88	88	—	11	11	—	1,097	922	175	—
3,302	2,566	736	139	86	53	64	57	7	3,377	2,595	782	—
20,894	17,219	3,675	412	307	105	284	190	94	21,022	17,336	3,686	684
2,133	1,178	955	90	74	16	127	113	14	2,096	1,139	957	334
4,342	3,105	1,237	108	82	26	87	60	27	4,363	3,127	1,236	830
2,191	1,432	759	37	24	13	19	9	10	2,209	1,447	762	—
9,570	8,262	1,308	140	88	52	95	74	21	9,615	8,276	1,339	10,209
1,458	1,329	129	16	15	1	22	22	—	1,452	1,322	130	111
3,485	1,310	2,175	24	17	7	41	20	21	3,468	1,307	2,161	613
10,449	9,853	596	140	130	10	163	154	9	10,426	9,829	597	—
2,547	2,159	388	208	179	29	107	82	25	2,648	2,256	392	—
30,605	23,513	7,092	996	775	221	580	418	162	31,021	23,870	7,151	—
1,944	1,201	743	42	17	25	54	33	21	1,932	1,185	747	—
1,333	144	1,189	12	4	8	33	2	31	1,312	146	1,166	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
637	412	225	16	12	4	10	8	2	643	416	227	—
1,414	1,286	128	48	46	2	18	16	2	1,444	1,316	128	—
2,831	2,527	304	60	55	5	19	14	5	2,872	2,568	304	—
894	763	131	88	88	—	11	11	—	971	840	131	—
2,590	2,040	550	102	69	33	63	57	6	2,629	2,052	577	—
13,395	10,978	2,417	345	255	90	238	157	81	13,502	11,076	2,426	—
1,563	744	819	85	72	13	57	45	12	1,591	771	820	—
1,781	1,420	361	27	22	5	24	15	9	1,784	1,427	357	—
1,193	1,090	103	15	15	—	4	4	—	1,204	1,101	103	—
12,988	10,630	2,358	188	122	66	167	140	27	13,009	10,612	2,397	—
467	358	109	24	13	11	13	9	4	478	362	116	—
269	172	97	5	—	5	4	—	4	270	168	102	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
278	218	60	—	—	—	1	1	—	277	217	60	—
335	267	68	20	15	5	1	1	—	354	281	73	—
1,426	1,201	225	12	8	4	14	13	1	1,424	1,196	228	—
126	82	44	—	—	—	—	—	—	82	44	126	—
712	526	186	37	17	20	1	—	1	748	543	205	—
7,499	6,241	1,258	67	52	15	46	33	13	7,520	6,260	1,260	—
570	434	136	5	2	3	17	11	6	1,307	1,135	172	—

# 毎月勤労統計調査結果速報

(昭和34年4月分)

労働省大臣官房労働統計調査部

茨 城 県

— 結 果 の 概 況 —

労 働 統 計 係

## 1. 平均賃金の推移

本月の一人当たり平均賃金は16,810円で前月の16,754円と比べ56円(0.4%)の増加で前月と大差はない。各産業別による前月対比は別表のとおりである。

## 2. 平均実労働時間の推移

本月の一人当たりの実労働時間数は、197.8時間で前月の195.2時間に比べ、2.5時間、出勤日数は26.6日で0.3日何れも増加を示した、主たる原因は操業日数の増加によるものである。

## 3. 雇用の傾向

本月の推計労働者数は80,556人で前月と比べ2,818人増加した原因は各産業別とも生産上の一途を辿っていることによる。

別 表

産 業 別	現金給与総額			きまつて支給する給与			特別に支払われた給与		
	本 月	前 月	対前月	本 月	前 月	対前月	本 月	前 月	対 月
総 数	16,810	16,754	△ 0.4%	16,250	16,148	6.3%	560	606	7.6%
D 鉱 業	16,662	17,085	△ 2.4	15,998	16,897	△ 5.3	664	188	—
E 建 設 業	12,397	12,419	△ 1.4	12,397	12,374	1.8	—	45	—
F 製 造 業	16,353	15,658	4.4	15,814	15,649	1.0	539	9	—
18 食 料 品 製 造 業	12,553	11,183	12.7	11,955	11,183	6.9	598	—	—
20 織 維 工 業	7,574	7,477	7.7	7,574	7,477	7.9	—	—	—
30 窯 業 土 石 製 品 製 造 業	16,552	17,422	△ 5.0	16,545	17,417	△ 5.0	7	5	—
34 機 械 製 造 業	11,492	11,729	△ 2.0	11,492	11,729	△ 2.0	—	—	—
35 電 気 機 械 器 具 製 造 業	18,196	17,313	5.1	17,502	17,312	1.1	694	1	—
39 そ の 他 の 製 造 業	15,062	13,494	11.6	12,983	13,825	△ 6.0	2,079	119	—
G 卸 売 及 び 小 売 業	13,796	15,597	△ 11.5	13,291	12,766	4.1	505	2,831	—
H 金 融 業	21,829	32,139	△ 32.4	20,705	18,918	9.5	1,124	13,221	—
J 運 輸 通 信 及 び そ の 他 の 公 益 事 業	19,629	18,629	5.3	18,899	18,354	2.8	726	275	—
L88 医 療 保 険 業	17,317	17,600	△ 1.6	17,284	17,600	△ 1.7	33	—	—

第1表 産業常用労働者の種類及び性別1人平均月間現金給与額並びに産業別臨時及び日雇労働者の1人1日平均現金給与額 (規模30人以上) (単位円)

産 業 別	現金給与総額			きまつて支給する給与			特別に支払われた給与			臨時及び日雇労働者の1人平均現金給与額
	総額	男子	女子	総額	男子	女子	総額	男子	女子	
<b>全 常 用 勞 働 者</b>										
<b>總 数</b>	16,810	18,792	8,217	16,250	18,163	7,958	560	629	259	343
D 鉱 業	15,662	17,493	6,859	15,998	16,788	6,687	664	705	172	364
E 建 設 業	12,397	13,321	6,200	12,397	13,321	6,200	—	—	—	362
F 製 造 業	16,353	18,757	7,728	15,814	18,145	7,450	539	612	278	270
18 食 料 品	12,553	16,346	5,931	11,955	15,424	5,898	598	922	33	350
20 織 維 工 業	7,574	14,975	5,754	7,574	14,975	5,754	—	—	—	327
21 衣 服 其 他 織 維 製 品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22 木 材 木 工 製 品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26 化 学 工 業	15,346	19,019	7,410	14,810	18,389	7,077	536	630	333	358
30 窯 業 土 石 製 品	16,552	17,628	8,088	16,545	17,621	8,088	7	7	—	328
32 非 鉄 金 属 製 品	18,256	19,614	8,717	18,256	19,614	8,717	—	—	—	—
33 金 属 製 品	13,041	13,913	8,428	13,041	13,913	8,428	—	—	—	—
34 機 械 製 造 業	11,492	13,049	6,410	11,492	13,049	6,410	—	—	—	—
35 電 氣 機 械 器 具 製 造 業	18,196	20,317	8,246	17,502	19,524	8,016	694	793	230	233
19.38.39 そ の 他	15,062	18,455	11,031	12,983	16,066	9,321	2,079	2,389	1,710	404
G 卸 売 及 び 小 売 業	13,796	16,351	7,042	13,291	15,690	6,949	505	661	93	319
H 金 融 保 險 業	21,829	26,262	13,379	20,705	24,942	12,627	1,124	1,320	752	—
J 運 輸 通 信 業	19,625	21,074	10,769	18,899	20,255	10,608	726	819	161	295
K 電 気 ガ ス 、 水 道 業	26,461	27,443	16,309	26,461	27,443	16,309	—	—	—	526
L 医 療 保 健 業	17,317	24,427	12,595	17,284	24,377	12,572	33	50	23	232
<b>生 産 勞 働 者</b>										
D 鉱 業	16,232	16,845	6,026	15,761	16,353	5,900	471	492	126	—
E 建 設 業	10,188	11,021	5,510	10,188	11,021	5,510	—	—	—	—
F 製 造 業	13,525	15,450	7,156	13,170	15,049	6,909	365	401	247	—
18 食 料 品	10,718	13,766	5,607	10,305	13,353	5,607	413	413	—	—
20 織 維 工 業	6,255	11,064	5,632	6,255	11,064	5,632	—	—	—	—
21 衣 服 其 他 織 維 製 品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22 木 材 木 工 製 品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26 化 学 工 業	10,296	12,621	5,974	10,096	12,443	5,734	200	178	240	—
30 窯 業 土 石 製 品	15,528	16,307	7,632	15,522	16,301	7,632	6	6	—	—
32 非 鉄 金 属 製 品	15,823	16,715	8,273	15,823	16,715	8,273	—	—	—	—
33 金 属 製 品	12,351	12,996	8,130	12,351	12,996	8,130	—	—	—	—
34 機 械 製 造 業	9,973	11,116	6,013	9,973	11,116	6,013	—	—	—	—
35 電 氣 機 械 器 具 製 造 業	14,960	16,583	7,515	14,496	16,048	7,378	464	535	137	—
19.38.39 そ の 他	12,894	15,052	10,853	11,284	13,505	9,184	1,610	1,547	1,669	—
<b>管 理 事 務 及 び 技 術 勞 働 者</b>										
D 鉱 業	19,138	21,915	8,203	17,364	19,753	7,956	1,774	2,162	247	—
E 建 設 業	17,844	18,532	9,557	17,844	18,532	9,557	—	—	—	—
F 製 造 業	23,212	26,372	9,447	22,250	25,274	9,077	962	1,098	370	—
18 食 料 品	19,913	23,809	7,789	18,571	22,108	7,756	1,342	1,701	33	—
20 織 維 工 業	14,232	18,653	7,167	14,232	18,653	7,167	—	—	—	—
21 衣 服 其 他 織 維 製 品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22 木 材 木 工 製 品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26 化 学 工 業	26,689	31,337	12,084	25,398	29,838	11,446	1,291	1,499	638	—
30 窯 業 土 石 製 品	20,612	23,633	8,880	20,604	23,625	8,880	8	8	—	—
32 非 鉄 金 属 製 品	23,195	25,901	9,300	23,195	25,901	9,300	—	—	—	—
33 金 属 製 品	18,350	23,500	9,269	18,350	23,500	9,269	—	—	—	—
34 機 械 製 造 業	16,851	20,313	7,564	16,851	20,313	7,564	—	—	—	—
35 電 氣 機 械 器 具 製 造 業	24,243	27,211	9,691	23,119	25,943	9,275	1,124	1,268	415	—
19.38.39 そ の 他	22,136	25,863	12,132	18,527	21,641	10,169	3,609	4,222	1,963	—

第2表 産業常用労働者の種類別及び性別一人平均月間実労働時間数及び出勤日数  
(規模30人以上) (単位時間、日)

産 業 別	実労働時間数			所定内労働時間数			所定外労働時間数			出 勤 日 数		
	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子
<b>全 常 用 勞 働 者</b>												
總 数	197.3	199.3	191.3	176.5	175.3	18.18	21.3	24.0	3.5	23.6	23.5	24.1
D 鉱 業	176.2	176.8	169.5	157.6	157.5	158.5	18.6	19.3	11.0	21.7	21.6	22.3
E 建 設 業	183.8	187.1	161.9	168.6	170.7	154.5	15.2	16.4	7.4	22.3	22.5	21.4
F 製 造 業	207.4	211.6	192.3	180.6	180.1	182.6	26.8	31.5	9.7	24.0	24.0	24.0
18 食 料 品 業	210.2	216.9	198.5	192.0	191.5	192.9	18.2	25.4	5.6	24.8	24.9	24.5
20 織 維 工 業	193.9	196.2	193.3	192.6	191.2	192.9	1.3	5.0	0.4	24.1	23.9	24.1
21 衣 服 其 他 織 維 製 品 業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22 木 材 木 製 品 業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26 化 学 工 業	207.6	215.6	190.5	183.3	184.1	181.7	24.3	31.5	8.8	24.5	24.6	24.3
30 窯 業 土 石 製 品 業	200.3	202.5	183.1	171.0	170.8	172.7	29.3	31.7	10.4	22.9	23.0	22.8
32 非 鉄 金 属 製 品 業	194.7	197.0	178.9	166.7	166.7	167.0	28.0	30.3	11.9	22.9	22.9	23.2
33 金 属 製 品 業	220.8	218.1	234.6	179.4	176.8	192.8	41.4	41.3	41.8	23.8	23.5	25.3
34 機 械 製 造 業	207.7	210.9	197.0	189.0	188.1	191.9	18.7	22.8	5.1	24.0	23.9	24.5
35 電 気 機 械 器 具 製 造 業	211.6	215.7	192.0	180.4	180.7	178.6	31.2	35.0	13.4	24.1	24.1	23.8
19.38.39 そ の 他 の 製 造 業	197.6	204.0	189.8	182.2	185.4	178.3	15.4	18.6	11.5	23.8	24.0	23.5
G 卸 売 及 び 小 売 業	203.4	196.4	221.1	192.7	184.6	215.6	10.7	12.3	6.5	26.5	26.1	27.8
H 金 融 保 險 業	192.9	188.2	201.4	181.8	177.8	189.2	11.1	10.4	12.2	26.0	25.7	26.5
J 運 輸 通 信 業	188.4	189.9	179.4	178.5	179.9	170.7	9.9	10.0	9.4	23.1	23.2	23.1
K 電 気 ガ ス 水 道 業	166.2	167.6	151.2	152.8	153.4	146.7	13.4	14.2	4.5	23.0	23.2	21.5
L 医 療 保 健 業	186.7	181.9	189.7	176.0	169.1	180.5	10.7	12.8	9.2	22.9	22.2	23.3
<b>生 産 勞 働 者</b>												
D 鉱 業	174.1	174.8	113.5	155.6	155.9	151.7	18.5	18.9	11.8	21.2	21.2	20.7
E 建 設 業	174.8	178.2	155.9	161.1	163.3	149.0	13.7	14.9	6.9	21.1	21.1	20.9
F 製 造 業	207.1	211.9	191.1	179.7	179.0	182.0	27.4	32.9	9.1	23.8	23.9	23.8
18 食 料 品 業	211.4	220.5	197.6	191.8	191.5	192.4	19.6	29.0	5.2	24.7	25.0	24.3
20 織 維 工 業	191.8	184.3	192.7	191.0	179.9	192.4	0.8	4.4	0.3	23.9	22.5	24.1
21 衣 服 其 他 織 維 製 品 業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22 木 材 木 製 品 業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26 化 学 工 業	208.7	222.6	183.0	182.4	186.5	174.8	26.3	36.1	8.2	24.3	24.8	23.4
30 窯 業 土 石 製 品 業	201.4	203.6	179.5	168.9	168.9	168.6	32.5	34.7	10.9	22.7	22.8	22.1
32 非 鉄 金 属 製 品 業	196.6	198.4	181.9	164.8	164.3	169.0	31.8	34.1	12.9	22.7	22.7	23.1
33 金 属 製 品 業	219.8	217.8	232.6	176.2	174.5	187.5	43.6	43.3	45.1	23.4	23.2	24.6
34 機 械 製 造 業	206.8	209.7	196.4	187.6	186.6	191.0	19.2	23.1	5.4	23.9	23.8	24.5
35 電 気 機 械 器 具 製 造 業	210.5	214.9	190.9	179.4	179.8	177.9	31.1	35.1	13.0	23.9	23.9	23.7
19.38.39 そ の 他 の 製 造 業	201.5	214.9	188.9	184.0	192.1	176.4	17.5	22.8	12.5	24.0	24.6	23.3
<b>管 理 事 務 及 び 技 術 勞 働 者</b>												
D 鉱 業	188.0	190.2	179.3	168.8	168.5	169.7	19.2	21.7	9.6	24.4	24.2	25.1
E 建 設 業	206.0	207.3	191.0	187.1	187.6	181.4	18.9	19.7	9.6	25.4	25.5	23.8
F 製 造 業	208.1	211.0	195.5	182.9	182.6	184.3	25.2	28.4	11.2	24.4	24.4	24.5
18 食 料 品 業	205.1	205.4	204.1	192.7	191.5	196.1	12.4	13.9	8.0	25.1	24.9	25.5
20 織 維 工 業	204.2	207.5	199.0	200.4	201.9	198.1	3.8	5.6	0.9	25.1	25.2	24.8
21 衣 服 其 他 織 維 製 品 業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22 木 材 木 製 品 業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26 化 学 工 業	205.3	202.1	215.2	185.4	179.4	204.3	19.9	22.7	10.9	24.9	24.2	27.3
30 窯 業 土 石 製 品 業	196.3	198.0	189.2	179.7	178.6	179.8	16.6	18.4	9.4	23.8	23.8	24.0
32 非 鉄 金 属 製 品 業	190.9	194.0	174.9	170.6	171.8	164.4	20.3	22.2	10.5	23.4	23.4	23.4
33 金 属 製 品 業	228.0	221.1	240.1	203.5	200.9	207.9	24.5	20.2	32.2	26.8	26.7	27.0
34 機 械 製 造 業	210.9	215.5	198.5	194.0	193.8	194.4	16.9	21.7	4.1	24.4	24.4	24.5
35 電 気 機 械 器 具 製 造 業	213.5	217.4	194.5	182.1	182.5	180.1	31.4	34.9	14.4	24.4	24.4	24.0
19.38.39 そ の 他 の 製 造 業	184.6	180.5	195.7	176.3	171.0	190.5	8.3	9.5	5.2	23.1	22.6	24.7

第3表 産業常用労働者の種類及び性別月末及び増加減少推計労働者数並びに産業別臨時及び日雇労働者の月間推計延人員（規模30人以上）（単位、人）

前月末労働者数			本月中の増加			本月中の減少			本月末労働者数			臨時及び日雇労働者の月間推計延人員
総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	
77,733	63,419	14,314	4,843	3,401	1,442	2,020	1,628	392	81,556	65,192	15,364	66,765
12,210	11,256	954	254	223	31	575	519	56	11,889	10,960	929	8,388
3,852	3,350	502	270	245	25	427	377	50	3,695	3,218	477	41,325
44,032	34,547	9,485	3,512	2,490	1,022	695	510	185	46,849	36,527	10,322	8,822
2,410	1,548	862	79	22	57	60	41	19	2,429	1,529	900	243
1,582	319	1,263	157	19	138	37	9	28	1,702	329	1,373	933
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
920	633	287	66	37	29	10	7	3	976	663	313	293
1,798	1,597	201	110	95	15	67	61	6	1,841	1,631	210	903
4,296	3,764	532	258	219	39	45	39	5	4,509	3,944	565	—
1,098	923	175	54	49	5	16	16	—	1,136	956	180	—
3,378	2,595	783	343	234	109	62	37	25	3,659	2,792	867	—
21,023	17,394	3,629	1,947	1,462	485	265	204	61	22,705	18,652	4,053	503
2,096	1,139	957	116	62	54	37	21	16	2,175	1,180	995	183
4,363	3,198	1,165	369	180	189	97	48	49	4,635	3,330	1,305	1,271
2,209	1,470	739	214	96	118	57	35	22	2,366	1,531	835	—
9,615	8,276	1,339	187	132	55	165	138	27	9,637	8,270	1,367	6,845
1,452	1,322	130	37	35	2	4	1	3	1,485	1,356	129	114
3,468	1,395	2,073	113	10	103	117	33	84	3,464	1,372	2,092	685
10,431	9,834	597	196	184	12	520	476	44	10,107	9,542	565	—
2,775	2,358	417	201	176	25	382	335	47	2,594	2,199	395	—
31,155	24,045	7,110	2,690	1,900	790	580	437	143	33,265	25,508	7,757	—
1,932	1,186	746	68	17	51	59	40	19	1,941	1,163	778	—
1,313	152	1,161	144	18	126	29	8	21	1,428	162	1,266	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
643	416	227	27	22	5	1	1	—	669	437	232	—
1,445	1,317	128	83	73	10	66	61	5	1,462	1,329	133	—
2,872	2,568	304	194	173	21	40	34	6	3,026	2,707	319	—
972	841	131	49	49	—	16	16	—	1,005	874	131	—
2,630	2,052	578	282	186	96	59	35	24	2,853	2,203	650	—
13,633	11,243	2,390	1,420	1,062	358	198	160	38	14,855	12,145	2,710	—
1,590	770	820	110	61	49	21	12	9	1,679	819	860	—
1,779	1,422	357	58	39	19	55	43	12	1,782	1,418	364	—
1,077	992	85	69	69	—	45	42	3	1,101	1,019	82	—
12,877	10,502	2,375	822	590	232	115	73	42	13,584	11,019	2,565	—
478	362	116	11	5	6	1	1	—	488	366	122	—
269	167	102	13	1	12	8	1	7	274	167	107	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
277	217	60	39	15	24	9	6	3	307	226	81	—
353	280	73	27	22	5	1	—	1	379	302	77	—
1,424	1,196	228	64	46	18	5	5	—	1,483	1,237	246	—
126	82	44	5	—	5	—	—	—	131	82	49	—
748	543	205	61	48	13	3	2	1	806	589	217	—
7,390	6,151	1,239	527	400	127	67	44	23	7,850	6,507	1,343	—
506	368	137	6	1	5	16	9	7	496	361	135	—

# 生産動態調査

— 人口統計係 —

## 織維部門

(昭和34年3月分)

### 概況

#### 織物

**綿織物**は生産高、引渡高とも前月と殆ど同じであり在庫は10%減少した。

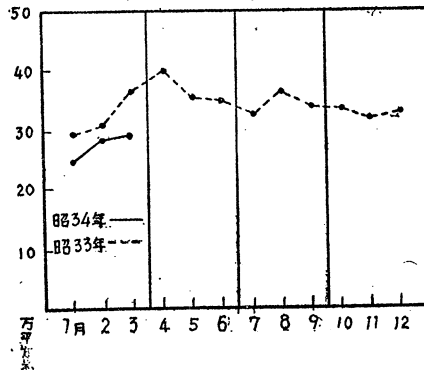
**絹織物**は夏物の取引が始つたため、生産高10%、引渡高19%が増加した。4月も増加する見込である。

#### その他

**メリヤス製品**は生産高は殆ど前月と変りないが、出荷高は8%増加した。品目別にみると、生産高が増加したのは手袋だけで、他は減少した。出荷高は外衣が減少しているが、その他は増加した。

**縫製品**は前月に比べ、作業服が生産、出荷高とも大巾に増加している。その他制服も増加している。

織物生産推移



#### (1) 対象工場数

業種	特紡和紡糸	綿織物	絹織物	メリヤス製品	雑織維製品	縫製品	製綿
対象	2	15	295	10	2	14	10
操業	2	13	277	10	2	14	10
休止	—	2	18	—	—	—	—



(2) 生産および出荷状況

品目別	品目別	単位	生産高		引渡高		月末在庫高	
			当月度	前月100対比	当月度	前月100対比	当月度	前月100対比
紡績	計	キログラム	—	93	—	91	—	118
	綿糸	〃	—	—	—	—	—	—
	落綿	〃	—	91	—	89	—	112
	ビスコース紡糸	〃	—	—	—	—	—	—
織物	特和紡織物	〃	—	100	—	100	—	120
	和紡織物	〃	—	—	—	—	—	—
	織物計	平方メートル	291,145	104	291,865	102	167,557	101
	綿織物	〃	239,844	99	250,085	99	81,624	90
物	絹織物	〃	14,280	110	11,931	119	56,181	104
	絹紡織物	〃	2,926	100	2,508	75	786	214
	和紡織物	〃	—	—	368	575	11,638	97
	特紡織物	〃	—	—	—	—	—	—
メリヤス製品	スフ織物	〃	—	—	—	—	—	—
	人絹織物	〃	—	—	—	—	—	—
	合成繊維織物	〃	34,095	147	26,973	134	17,328	175
	メリヤス生地	キログラム	—	—	—	—	—	—
メリヤス製品	製品計	打	13,684	99	13,392	108	10,808	101
	肌着	〃	3,180	91	2,990	107	3,903	101
	外衣	〃	502	23	487	29	21	5
	手袋	〃	8,134	133	7,734	123	4,611	123
雑織雑製品	靴下	〃	1,868	93	2,181	132	2,273	88
	計	キログラム	—	120	—	127	—	102
	漁網	〃	—	145	—	135	—	124
	漁具	〃	—	88	—	116	—	87
縫製品	学校服	着	1,846	74	1,929	85	1,289	94
	作業服	〃	1,865	867	1,230	1,042	935	312
	制服	〃	6,721	141	6,721	141	0	—
	乳児および子供服	〃	—	—	15	10	531	97
製綿	既成服	〃	4,655	108	5,744	102	1,313	92
	中衣、肌衣	点	27,986	92	33,171	182	41,157	89
	中入綿	キログラム	16,732	59	16,595	60	5,140	103
	ふとん綿	〃	77,270	77	79,613	79	25,224	92

★本表は、生産動態統計調査規則に定められている繊維工場を調査対象としたものであるが、特紡糸、和紡糸以外の紡績工場および抽出調査工場は含まれていない。

雑 貨 部 門

(昭和34年3月分)

概 況

章 靴

今月の生産数量は232足で前月に比べると14%の増であつた。

漆 器

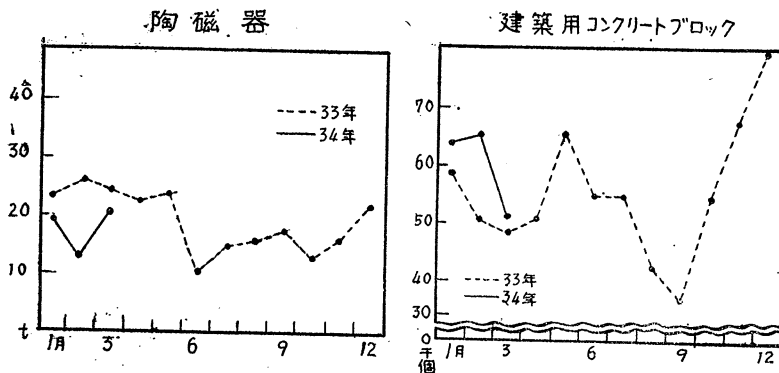
今月の生産を前月に比べると2%とわずかに減少した。

建築用コンクリートブロック

今月の生産数量は50,858個で前月に比較すると、22%の減を示しているが出荷においては、36%と伸びている。

陶 磁 器

今月は生産59%、出荷23%と増加している。これは前月の生産があまりに少なかったため旧に復したためと思われる。



業 種	製 品 名	区 分	単 位	生 産 数 量			出 荷 数 量			月 末 在 庫 数 量	事 業 所 数 (操業)
				数 量	前月対比 %	金 額 (千円)	数 量	前月対比 %	金 額 (千円)		
革	総	数	足	232	114	614	240	119	675	426	4(4)
	男子総革靴	靴	〃	146	94	427	148	98	459	194	
	婦人	靴	〃	86	179	187	92	184	216	232	
	その他靴	靴	〃	—	—	—	—	—	—	—	
漆 器 (木製)	総	数	個	2,421	98	997	2,446	101	997	283	11(11)
	食器類	類	〃	—	—	—	—	—	—	—	
	容器類	類	〃	1,015	140	117	1,040	149	117	—	
	食卓用膳盆類 その他	類 〃	〃 〃	906 500	54 —	840 40	906 500	543 —	840 40	280 3	
建 築 用 コ ン ク リ ー ト ブ ロ ッ ク	総	数	個	50,858	78	1,493	63,961	136	1,973	59,341	5(5)
	A種	基 本 型	〃	5,099	237	139	2,603	131	102	5,122	
	B種	異 基 本 型	〃	830	74	25	900	93	31	1,472	
		異 基 本 型	〃	378	38	11	875	76	35	787	
	C種	異 基 本 型	〃	250	78	7	690	29	28	575	
		異 基 本 型	〃	18,290	77	578	23,363	155	798	24,250	
帳	壁 用	〃	8,807	505	287	4,663	159	152	6,954		
帳	壁 用	〃	17,204	49	446	30,867	124	827	20,181		
陶 磁 器	総	数	珎	205,358	159	23,724	187,103	123	23,656	147,989	20(20)
	電 氣 用	特別高圧用碍子	〃	36,829	110	11,802	36,829	110	11,802	—	
		高圧用碍子	〃	—	—	—	—	—	—	—	
		低圧用碍子	〃	—	—	—	—	—	—	—	
	家 庭 用 品 衛 生 用 品 が ん 具 そ の 他	その他	〃	8,070	84	9,993	8,162	85	10,140	0	
		家庭用品	〃	137,640	216	1,542	119,156	138	1,345	142,661	
		衛生用品	〃	19,500	93	195	19,500	89	195	400	
がん具		〃	3,319	251	192	3,456	325	174	4,928		
その他	〃	—	—	—	—	—	—	—			

※革靴、陶磁器は5人以上の事業所、漆器、コンクリートブロックは全事業所である。

# 鋁工業生産指数

昭和34年1・2・3月分

(昭和30年基準)

一商工統計係一

## 概況

2月の生産指数を1月に比べると総合において13%、鋁業1%、製造工業15%、それぞれ増である。うち主に増加したのは鋁鋼業13%、金属製品工業29%、一般機械工業18%、輸送用機械工業68倍、皮革工業10%、繊維工業37%、食料品工業16%等である。これに反し減じたのは、電気機械工業22%、精密機械工業10%、化学工業11%、紙及びパルプ工業13%、製材18%等である。

なお3月の生産指数を2月に比べると総合において、14%、鋁業1%、製造工業16%の増である。うち増加したものは、非金属鋁業38%、鋁鋼業22%、一般機械工業41%、電気機械工業19%、輸送用機械工業3倍、窯業21%、化学工業29%、皮革工業13%、紙及びパルプ工業27%、その他の工業58%等で、減じたものは非鉄金属工業19%、金属製品工業69%、石油石炭製品業10%等である。

また昨年3月と比べると、総合において2%、鋁業12%の減、製造工業においてはほぼ同じである。主に増加したものは、非金属工業21%、輸送用機械工業170倍、精密機械工業32%、化学工業46%、繊維工業37%、製材14%、食料品工業

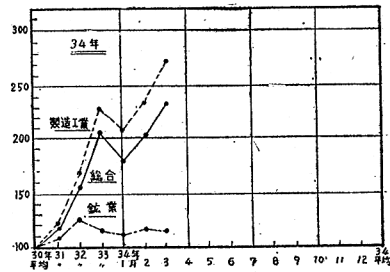
## 茨城県鋁工業生産指

年月	分類	鋁 総 合	鋁 業	鋁業		
				石炭鋁業	金属鋁業	非金属鋁業
ウエイト		100.00	25.17	67.64	30.22	2.14
昭和31年	平均	115.34	106.05	107.00	103.19	117.00
平	32年	156.54	122.48	125.00	114.91	149.00
平	33年	201.40	119.07	122.00	111.18	138.00
3	33年	235.81	127.52	133.00	113.98	146.00
1	34年	179.82	113.37	115.00	109.73	113.00
2	34年	203.15	114.22	112.00	119.13	115.00
3	34年	231.91	114.31	114.00	111.83	159.00

年月	分類	鋁業				
		輸送用機械工業	精密機械工業	窯業	化学工業	石油、石炭製品業
ウエイト		5.55	0.75	8.66	2.43	0.59
昭和31年	平均	322.02	132.49	126.77	119.26	93.00
平	32年	58.98	148.07	156.91	122.53	102.00
平	33年	257.05	167.47	141.05	162.21	93.00
3	33年	3.76	252.99	161.51	116.41	97.00
1	34年	31.07	192.03	119.74	146.19	100.00
2	34年	212.62	174.26	131.30	131.70	97.00
3	34年	638.77	335.19	159.09	169.56	88.00

11業%、その他の工業14%等で、減じたものは、石炭鉱業の17%、金属工業36%、一般機械工業42%、気電機械工業31%、石油石炭製品業10%等である。

特に輸送用機械工業が全般的に増加しているのは、鉄道用機関車の生産があつたからである。



数表 (総合) 昭和30年基準

製造工業	鉄鋼業	非鉄金属工業	金属製品工業	一般機械工業	電気機械工業
74.83	1.55	11.86	4.83	12.50	27.96
118.50	156.31	109.79	29.29	57.43	115.90
168.00	212.13	140.07	130.12	98.00	292.45
229.09	170.52	110.64	370.60	135.87	305.05
272.25	208.29	106.63	527.08	212.11	452.96
202.16	150.23	147.21	437.26	57.82	384.32
233.06	169.59	153.75	656.15	106.37	313.98
271.47	207.64	129.19	386.18	149.64	374.53

皮革工業	紙及パルプ工業	繊維工業	製材	食料品工業	その他の工業
0.28	1.07	3.35	3.17	14.86	1.04
131.73	152.74	188.62	128.00	105.01	88.00
125.57	163.10	130.46	118.00	105.40	92.00
122.44	278.41	136.38	116.00	100.59	58.00
123.34	1,075.83	138.31	135.00	264.16	59.00
97.80	19.44	136.75	166.00	136.99	17.00
101.66	17.29	183.58	141.00	287.64	28.00
115.12	21.95	189.30	154.00	294.38	67.00

# 新市町村の横顔

## 金砂郷村



成井村長

金砂郷村はちよとそんな所だ。

東に常陸太田市、西に大宮町と接しているが、この両者を結ぶ路線は、この村の南端をかすめるだけである。本村は路線の谷間でもあるが、又地勢上でも谷間の様相を呈している。南北に長く17.0km、東西5.7km、総面積63.14km<sup>2</sup>、八溝山脈の支流の小高い丘陵の間を縫つて、一本の道路が縦貫している。常陸太田登山方行のバスがここを走る。

この村は昭和30年4月15日に旧金砂、金郷、郡戸、久米の4村が合併して誕生したが、新村名はその名の示すとおり、昔金砂山の山中から砂金が流出し、その辺一帯が、金砂郷と称せられていたことから、新村誕生にあたり、再び村名として採用されたわけである。

ここは元佐竹の藩の所領であつたが、慶長7年佐竹氏が秋田に移され、同14年徳川頼房を水戸藩主に迎えて以後は水戸家の所領となつた。現在村の構成は23の大字からなつているが、これらの大字は昔村と呼ばれていたもので、旧4村の形態になつたのは明治22年町村制施行の際による。昭和34年4月末の世帯数は2,792戸、人口15,491人(男7,404人、女8,087人)県下36村のうち6番目に人口の多い村である。

## 2. 産 業

## 1. 沿 革

最近バス路線のとめどない発達で、どんな土地へ行くにも随分と便利になつたがそれでも時に、路線の谷間といったような所があつて、バスの往復が午前と午後とそれぞれ2回づつといった工合で、ちよと隣の街に行くにも、朝早く出かけて帰りが午後になるということにな

村の農家世帯2,377は全世帯の85%、農家人口13,361人は全人口の86%と、本村の純農村であることをよく示している。主要生産物は米、麦、たばこで、特にたばこは隣の水府村と共に水府種の産地で、31年の生産額は1億2千万円であり、年々品質改善のために多額の金が支出されている。だが本村の農業には後進性を指摘できる点が若干ある。その一つは耕地整理があまり進んでいないことである。従つて一毛作田は93%と多い。これは1戸当り田畑の所有が0.75ヘクタールと少いのと共に考えるべき問題である。最近旧金砂地区にこんやくの組合が出来、又旧郡戸、久米、金郷地区に、もも、なしの組合が結成されて、村から補助金が出され、農事研究会が開かれてその栽培に力を入れ始めたのは、この問題に一步を踏み込んだことといえよう。

村の半分を占める山林原野は、この村の林野生産物を豊かに色どつている。用材の生産高620m<sup>3</sup>15,573千円、木炭20,483俵、7,029千円、薪130,000束、2,200千円、竹400千円、杉檜皮110千円は、山村の性格を本村に加えることにならうか。

## 3. 教育文化

本年4月30日成井村長が無競争当選した。新村長を迎えて第2段階の新村建設が始まろうとしている。新村建設計画事務局が設置されて、過去の分析と将来への設計が着々と進められている。しかし本村は縦に細長い地勢の関係から行政上の問題点も多い。たとえば役場新庁舎の建設にしても、どの位置に建設すればすべての住民にとつて便利かということで悩んでいる。学校の統廃合にしても、それを無理に強行することは、かえつて児童に負担をかけかねない。

昨年までの重点事業として、小学校の増築、或いは道路補修用砂利運搬のトラックの購入、国民健康保険の実施などそれはそれなりの実績をおさめて来たが、尚今後につつこと多い本村の発展を新村長と共に期待しよう

昭和34年度一般会計歳入歳出予算

(単位円)

歳入	村 税	地 方 交 付 税	公管企業及 び財産収入	使用料及 び手数料	国 庫 支 出 金	県支出金	寄 附 金	繰 越 金	雑 収 入	合 計					
		20,130,000	24,300,000	9,064,000	530,000	521,000	1,433,000	160,000	2,151,000	1,244,000	59,533,000				
歳出	議会費	役場費	警 察 消 防 費	土 木 費	教 育 費	社 会 保 健 産 業 勞 働 費	衛 生 費	経 済 費	財 産 費	統 計 調 査 費	選 挙 費	公 債 費	諸 支 出 金	予 備 費	合 計
	2,362,000	16,484,000	2,768,000	3,732,000	9,778,000	337,000	623,000	4,955,000	10,200,000	145,000	1,316,000	525,000	6,058,000	250,000	59,533,000

# 人 さ ま ざ ま

青木正寿

わが統計課の窓口事務を取扱うようになったのは昨年の9月からである。それから約9カ月のあいだ統計課を訪ねてこられる方々を私は私なりに見ているが、いろいろなことを勉強させられ、窓口事務もまたなかなか楽しいものである。

まずドアをノックして礼儀正しく訪れてくる人（もつともこんな人は何十人かに一人で……私はこれを純情型と名づけている。）次は入ってきて、課内を一順してやおら用件を切り出す一順型、入ってきてあいさつぬきでいきなり「誰誰さんおりますか」といういわゆる性急型、そうかと思うと入ってきて物もいわずに、によきり突立つて課内を見まわし、訪れる人がいないと思うとまただまつて帰るだんまり型や、用件がすむと最後には必ず一つ一つ念をおしてゆく慎重型、入ってくる時持ってきた書類

袋や週刊雑誌など忘れてゆく健忘型、ドアを開けて入口のつい立から課内のようなすをヒョイトとのぞいて、またヒョイトと帰つて行くのぞき型、入つてきて自分の用件だけペラペラしやべつて、こちらの返事もろくろくきかないで、そそくさと帰つて行くそこつ型、おうへいに「課長は」とときく威圧型、自分の思う通りにならないとすこんでゆくおどし型など全く千差万別である。

お客さんには甚だもつて失礼千万なことではあるが、私は統計課を訪ねてくる人々をこのように一つ一つの型にはめて、見たり、接したりしているので近頃はこんどはどんな型の人々がたずねてこられるかと楽しみにしている。そしてまた自分は一体どの型に入るだろうかと考えてひやあせをかくしまつてゐる。

統計的批評

統計的批評

## 訂正

本誌4.5月合併号に掲載いたしました「本県の人口」の内容に下記のとおり誤りがありましたので訂正いたします。

ページ	事	項	誤	正
6頁	昭和32年12月	人口 対前月増減	999	899
〃	〃	〃 増加率(%)	0.05	0.04
〃	昭和32年年間合計	人口 対前月増減	760	660
〃	〃	〃 増加率(%)	0.06	0.05
8頁	昭和32年4月	社会移動による増減	△ 3,411	△ 3,419
10頁	東京の欄	下から5行目	46.3	46.2
13頁	土浦市	人口 男	85,051	35,051
14頁	江戸崎町	人口 総数	18,506	13,506
16頁	市計	世帯数	174,673	175,673
17頁	美浦村	世帯数	1,123	1,723